

NOW 市政の動き・自分史

city government now
一宮市政報告新聞
一宮市議会議員 岡本将嗣

一宮市議会
12月定例議会
11月30日開会、12月20日閉会



一宮市議会議員
岡本将嗣

12月定例会 開会

はじめに、今回の補正予算は、国・県補助金等の決定や内定に伴います関係経費の補正、上半期の予算執行状況を踏まえ決算見込みを立てる中で、各種経費全般にわたる過不足の調整及び給与改定による人件費の減額を行います。

平成23年度12月補正予算

12月補正予算の規模は、一般会計で1億8,820万5千円の増額、特別会計・企業会計で5億4,502万円の増額、全会計では、7億3,322万5千円の増額補正となっております。

主な事業費として、一宮駅周辺自転車放置禁止対策関連経費326万6千円。子ども医療費市内限定受給者証交付関連経費1,481万7千円。生活保護費5,903万2千円。緊急浸水対策事業工事請負費

9,700万円。新一宮尾西線道路改築関係経費8,237万8千円。庁舎建設基金積立金3億円などがあります。

次に単行議案の主なものは、人事院勧告に準じます「一宮市職員の給与に関する条例」等の一部改正、小・中学校への子ども医療費助成方法を現在の償還払い方式から現物給付方式に変更するための「一宮市子ども医療費の助成に関する条例」の一部改正、産業廃棄物の処分費用及び一般廃棄物処理手数料の額を引き上げるための「一宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の一部改正、企業立地奨励措置の適用対象事業所の範囲を拡大するための「一宮市企業の立地の促進に関する条例」の一部改正、一宮市立中学校における教員による生徒傷害事案に係る和解及び損害賠償の額の決定及び「一宮社会福祉センター思いやり会館」を始め9件の指定管理者の指定などがあります。

なお、今会期中に追加提案されました、公営玉野団地第3期建設工事の請負契約の締結、任期満了に伴う公平委員会委員の選任が行われ決定されました。

12月定例議会
今回の、私の質問
12月7日(水)午前10時30分から

1項目

『災害弱者への対応について』

(1) ひとり暮らしの

高齢者を助けるために

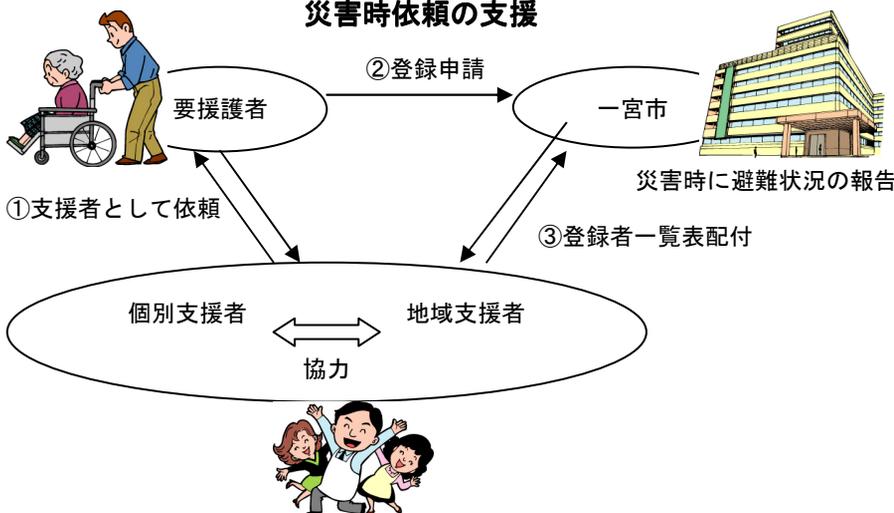
3・11東日本大震災から9ヶ月が過ぎました。寒さも厳しくなる季節となり、被災された皆様には心から追悼の意をささげるとともに、一日でも早い復興と震災前の日常生活を取り戻すことができるよう心からお祈り申し上げます。

さて一宮市におきましても東海・東南海・南海地震などの大震災が予測されていますが、大規模災害が起きた場合には、交通網も寸断され、ライフラインの確保も難しくなることが危惧されております。そこで重要となるのが地域で支えあうこと「共助」ということだと思えますので、特に災害弱者に対する制度として、昨年6月に開始されました災害時要援護者制度について確認しました。

ひとり暮らし高齢者登録者数は、平成23年10月31日現在、4,604人。また、災害時要援護者支援

制度のひとり暮らし登録者は、平成23年8月22日現在、1,614人で、ひとり暮らし高齢者の登録者のうち、災害時要援護者支援制度の登録者割合は、約35%。一宮市では、「手上げ方式」で災害時に援護が必要であると思っている方が自ら希望して登録する方法。その他には、「関係機関共有方式」「同意方式」がある。こちらについては、個人情報保護条例の目的外利用の規定を活用して実施するため、対象となる方ご本人の意思に関係なく地域の方に情報が共有されてしまうおそれがあります。

災害時依頼の支援



このニュースは、日常の議員活動や議会・市政の報告を目的として、話題となっている情報等をピックアップし、不定期に発行するものです。

一宮市議会議員

岡本将嗣

masashi-tantei@docomo.ne.jp

発行所：岡本将嗣事務所

住所：一宮市真清田 1-3-23

連絡先：(0586) 24-0767

登録された情報は、福祉課で管理していますが、市の関係部署への提供の他、登録をされた要援護者、個別支援者、地域支援者にお渡しをすると共に、要援護者がお住まいの地域の町内会長さんや民生児委員さんに、受持地域の全登録者の名簿を渡し情報の共有化を図っています。

日頃からの地域・町内の絆も大切なことだと思います。この制度は、地域の協力なしには成り立ちません。是非とも地域にあった自主的な協力が得られるように引き続きPRするとの答弁がありました。さらには地域づくり協議会の中でも、この災害時要援護者支援制度を独自のやり方・手法を検討いただき、災害弱者を一人でも多く助けに行けたらと思います。

(2) 避難場所・備蓄倉庫

市内には、食糧を2箇所備蓄されています。4月1日現在、乾パン38,400食、ビスケット32,000食、アルファ化米5,000食の計75,400食を、消防本部東の緑倉庫と尾西庁舎の2か所に備蓄をしています。避難場所である、小・中学校には災害用食糧を備蓄されていません。住民が生活するために最低限必要と

なる資機材を最優先に備蓄しておかなければならないため、毛布や敷きマット、簡易トイレやトイレトーパーなどの生活必需品の他、発電機や投光器などを最優先に配備しています。

2項目

『ごみ集積所・カラス対策』

(1) 集積所の設置箇所

ゴミ問題とカラス対策については、昨年何度となくこの一般質問でも取り上げてきました。

一宮市内に約15,000か所のゴミ集積所があり、可燃ごみ集積所が12,000か所。不燃ごみ集積所が2,000か所。町内回収資源場所が1,000か所あります。可燃と不燃と兼ねている集積所は、2,000か所あるので、不燃集積所は4,000か所になります。



(2) 集積所の美観について

カラス除けネットを要望のある町内会へ毎年サンプルとして2枚配付をし、廃棄物減量等推進委員会などで正しいネットの使い方をPRしていると聞いています。しかし、駅周辺の街路樹に巻き付けて設置してあるネットを見ますと、町の美観もあつた物ではありません。

そこで、カラス対策にも、不燃ごみの集積所からの風で飛ばされることから守ることができる、『折りたたみ式・軽量ごみステーション』アイデアは私がいたしました。地元一宮の業者さんをお願いをして試験的に試作を作成していただきました。



一宮市には、実用新案や特許に対するの支援制度があります。一宮市中小企業ISO取得及び特許・実業新案出願支援補助金交付制度がございます。事業者の創意工夫とい

ますか、ひらめきといえますか、そうした部分にも市が積極的に支援をしていく姿勢がよくわかりました。今後、カラス対策にも有効、かつペットボトル等の回収日(緑のゴミ袋)にも風に飛ばされることなく安心です。このネットはブルーで、一宮市仕様。黄色のネットにすれば、稲沢市仕様にもなります。ごみ問題で悩む町内会様には新兵器だと思います。今回はこの『折りたたみ式・ごみステーション』を議場に持ち込み、一般質問を致しました。

1・2月 市・連区内の、各行事のお知らせ

- ◎ 12/29 (木) 両郷町・夜警 午後9時30分〜 両郷公民館
 - ◎ 12/30 (金) 西之町・夜警 午後9時00分〜 野口様宅
 - ◎ 1/1 (日) 新年賀詞交換会 午前9時〜正午 岡本まさし事務所
 - ◎ 1/1 (日) 市長・挨拶会
 - ◎ 1/2 (月) 県議会議員・挨拶会
 - ◎ 1/7 (土) 消防出初式 午前10時〜 大野グラウンド
 - ◎ 1/8 (日) 成人式 貴船連区 午前11時〜 一宮市民会館
- 平成24年 京都伏見稲荷参拝
1月15日 (日) 新春初参り
岡本まさし後援会

岡本将嗣のアルバム

三代交流演芸大会の一枚です。近藤さんの見事な刀裁き(居合切り)。地元の要望に応じています。東小島のバイパスのアンダーパス。交通事故多発地帯のため、カラー舗装で危険を周知させる。補正予算で、貴船連区(下沼地内)の浸水対策予算がおりました。年度末までには、完成予定。クリスマス日に雪がふりました。家の前で雪だるまを作り、一緒にポーズをとりました。もうすぐ4歳に。

